

認定第1号

平成30年度社会福祉法人八千代町社会福祉協議会事業報告

少子・高齢、核家族化が進行し、社会福祉を取り巻く状況が大きく変わりつつあるなか、社会福祉協議会は地域福祉推進の中核的な役割を担う社会福祉法人としての存在意義を明らかにしながら、新たな生活課題や地域福祉への取り組みが求められています。

こうした現状を踏まえ、これまでの活動で培ってきた経験や手法を活かしながら、健康で生き生きとした生活ができる地域福祉の推進のため、地域住民及び関係機関と連携し次のとおり事業を実施しました。

重点項目への対応状況

- 1) 法人運営のガバナンスの強化を図るため理事・評議員会を開催し、法人運営に関する重要事項の審議・決議を受け各種業務を実施するとともに、業務執行状況を定期的に理事会へ報告し、組織体制の整備や法人運営の適正化に努めました。
- 2) 八千代町地域福祉活動計画に基づいた各種事業を実施し、住みなれた地域で安心した生活が出来るよう、地域福祉の充実に努めました。
- 3) 各種ボランティア養成講座や視察研修を実施し、多様なニーズに対応できるボランティアの育成と活動支援を行い、地域福祉の向上に努めました。

1 事業概要

(1) 法人運営

① 理事会、評議員会等を開催し、社協事業の適正な運営を図りました。

開催日	会議名	内 容
H30.5.24	監査会	平成29年度八千代町社会福祉協議会事業報告・収入支出決算の監査
H30.6.5	理事会	平成29年度八千代町社会福祉協議会事業報告について 平成29年度八千代町社会福祉協議会一般会計収入支出決算について 八千代町社会福祉協議会副会長の選定について 八千代町社会福祉協議会定時評議員会の招集について
H30.6.20	定時評議員会	平成29年度八千代町社会福祉協議会事業報告について 平成29年度八千代町社会福祉協議会一般会計収入支出決算について 八千代町社会福祉協議会役員を選任について
H30.6.20	理事会	八千代町社会福祉協議会常務理事の選定について 八千代町社会福祉協議会評議員選任・解任委員会に推薦する評議員の候補者について 八千代町社会福祉協議会評議員選任・解任委員会の招集について
H30.7.11	評議員選任・解任委員会	八千代町社会福祉協議会評議員の選任について

② 寝たきり高齢者等への理髪料助成

民生委員の協力のもと、要介護3以上の助成申請者を対象に理髪料の助成を行い、介護者の労力の軽減と要介護者の衛生管理に努めました。



利用延人数 83名

③ 敬老祝い品の贈呈

町内の88歳到達者及び100歳以上の高齢者宅へ、社協会長または社協職員が訪問し、敬老を祝うと共に祝金品を贈り、高齢者福祉の充実に努めました。

88歳到達者 121名

100歳到達者 8名

敬老祝実績

101歳超者 13名

性別	88歳	100歳	101歳	102歳	103歳	104歳	105歳	合計
男	43	1		1				45
女	78	7	4	1	4	2	1	97
計	121	8	4	2	4	2	1	142

④ ひとり暮らし高齢者友愛訪問事業

ボランティアの協力により、70歳以上のひとり暮らし高齢者宅へ、毎月2回第2・4火曜日に安否確認を目的とした友愛訪問と併せてお弁当を配付し、高齢者福祉の向上に努めました。



実施回数 22回

利用延人数 2,190名

(月平均利用者数100名)

⑤ ひとり暮らし高齢者いきいきツアー

70歳以上のひとり暮らし高齢者の外出の機会や社会参加を目的として、観光地の見学や道の駅等で買い物をし、高齢者福祉の充実に努めました。



行き先 足利フラワーパークほか

参加者 78名

(民生委員27名含む)

⑥ 高齢者世帯クリスマス料理配付事業

70歳以上のひとり暮らし高齢者及び70歳以上の高齢者のみの世帯へ、民生委員の協力を得てクリスマス料理を配付し、高齢者福祉の充実に努めました。

配布基準	今年度	前年度	増減
70歳以上のひとり暮らし高齢者	214名	212名	+ 2
70歳以上の高齢者のみの世帯	200世帯	187世帯	+ 13



⑦ ふれあいいいききサロンの設置

地域の高齢者等の仲間づくりや生きがいを目的に、町内8ヶ所（露田・高野・菅谷西部・仁江戸・西大山・川尻・兵庫沼端・野爪）の行政区を「ふれあいいいききサロン」の地区に指定し、地域の公民館等に月1回以上集まりグラウンドゴルフや健康体操などを実施し、コミュニティづくりの推進に努めました。



(3) 障がい者福祉対策

① 身体障害者福祉協会への育成援助

町身体障害者福祉協会への活動支援として、町身障者スポーツ大会の開催や茨城県身障者スポーツ大会への積極的参加を呼びかけ、生活意欲の向上を図れるよう努めました。

会員数 38名



町スポーツ大会参加者 25名

県スポーツ大会参加者 14名

② 視覚障がい者への「声の広報やちよ」のサービス

ボランティアサークルの協力のもと、町内の視覚障がい者へ「声の広報やちよ」を毎月届け、障がい者福祉の向上に努めました。

利用者 4名

③ 親子すこやか交流事業

町内の障がい児を対象に、ボランティアの協力を得ながら親子で社会参加できる機会を提供し、障がい者福祉の向上に努めました。

行き先 カップヌードルミュージアムほか
参加者 23名

(4) ボランティア活動の推進

① ボランティアの育成援助

ボランティアの相談、斡旋、登録等、ボランティア活動の向上に努めました。

ボランティアセンター登録者数 41名
相談件数 10件

② 福祉教育への参加、協力

町内の小学校からの福祉体験学習の依頼を受け、個人ボランティアや手話サークルの協力を得て、車いすの介助方法や目や耳が不自由な方への介助の仕方、手話でのコミュニケーション方法を学び、福祉に対する理解を深めてもらいました。

実施校数 4校

(車いす4回、アイマスク4回、シニア体験1回、手話4回)



<車いす体験>



<アイマスク体験>



<シニア体験>



<手話体験>

③ ご近所声かけ隊事業

隊員として登録しているボランティアが、ひとり暮らし高齢者や小学校の下校時の児童に声かけをすることで、地域の安全確認に協力し、福祉コミュニティづくりの推進を図りました。

隊員登録数 39名

④ ボランティア連絡協議会の育成援助

今後益々必要とされるボランティア活動を推進するため、ボランティアサークル及び個人ボランティア相互のつながりや、情報の共有・協働による活動展開ができるよう、連絡協議会の活動支援を行いました。

- ・視察研修会
- ・身障者スポーツ大会への協力
- ・秋まつり福祉バザー

サークル登録数 5サークル 123名
個人ボランティア登録数 11名

⑤ ボランティア活動保険加入受付

ボランティア活動中の事故に備えて、ボランティア活動保険等の保険加入を受け付けました。

活動保険加入者 559名
行事保険加入者 988名
福祉サービス総合補償保険加入者 21名

⑥ 寄附金品の受入れ及び払出し（善意銀行）

- ・町民の方からの善意をお預かりし、地域福祉向上のために役立てました。

寄附金 26件 303,246円
物品 35件（使用済み切手、タオル等）

- ・「住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくり」を推進するため、町民を対象とした福祉向上につながる活動に助成しました。

助成件数 2団体 助成総額 200,000円

- ・八千代オハナこども食堂
- ・八千代町特別な支援を要する子を持つ親の会ステップ

⑦ 夏休みチャレンジ体験講座の開催（小学4年生～6年生対象）

子どもの頃から、防災や地域福祉に対する理解や関心を高めてもらうために体験講座を実施しました。

「手話を学ぼう 手話で話そう 入門体験」

参加者15名



⑧朗読講座の開催

視覚障がいのある方や高齢者の方へ、広報紙や本など様々な情報を伝えるために読み方の基本や発音・発声を学びました。



参加者 11名

(5) 児童福祉対策

① サンタクロース派遣事業

保育園・幼稚園のクリスマス会などの行事にサンタクロースを派遣して、子どもたちへプレゼントを届けました。(たちばな幼稚園・みどりが丘保育園、さわきこども園、八千代中央幼稚園)

4園 561名



② 保育園・幼稚園への支援

運動会開催時に助成をし、児童福祉の向上に努めました。

保育園・幼稚園 9園

③ 福祉教育推進学区指定事業

平成29年度から2年間で結城小学区を指定し、福祉体験学習や認知症サポーター養成研修等を実施し、子どもの時から社会福祉への理解と関心を高め、福祉の増進に努めました。



<車椅子・高齢者疑似体験>

<認知症サポーター養成研修>

>

④ 子育て支援

子育て支援事業の実施団体へ助成をし、児童福祉の向上に努めました。
対象団体 八千代町地域女性団体連絡会

(6) 母子福祉対策

① 入学祝品配付事業

母子、父子家庭の新入学児童へ祝金を贈り、母子、父子家庭の援護に努めました。
該当者なし

② 母子寡婦福祉会への育成援助

・視察研修会の実施ほか
会員数 24名

(7) 低所得世帯対策

① 生活福祉資金貸付事業

茨城県社会福祉協議会が行う貸付制度で、低所得世帯、障がい者の世帯、高齢者世帯の生活向上のため、貸付及び世帯更生指導を行いました。

年間相談件数 36件
貸付利用者 5名

② 小口貸付資金貸付事業

民生委員の協力のもと、小口貸付資金の活用により、低所得世帯の更生助長に努めました。

年間相談件数 12件
貸付利用者 4名
うち償還完了 3名
貸付総額 95,000円

③ 生活困窮者への食糧支援

フードバンク茨城から提供を受けた食糧を備蓄しておき、行政や社協へ相談に来た緊急性の高い生活困窮者への対応として、食糧の支援を行いました。

延支援件数 13件

(8) 相談事業

① 心配ごと相談事業

毎月第2・4火曜日に中央公民館談話室に相談所を開設し、人権擁護員・行政相談員・学識経験者等の相談員が、住民の様々な悩みごとについて相談に応じました。また、専門的な相談については、法テラス等の各専門機関と連携して必要な情報提供や適切な助言を行いました。

開所回数 19回
年間相談件数 24件

(来所23件/電話1件)

② 日常生活自立支援事業 (地域福祉権利擁護事業)

認知症高齢者、知的、精神障がい者等で判断能力が不十分で親族などの援助が得られない方に対して、福祉サービスの利用手続きや通帳や証書などを預かり日常生活上での金銭管理を援助し、地域福祉の向上に努めました。



利用者数 3名
延支援時間 26時間

(9) 在宅福祉サービスセンター (有償ボランティアサービス)

高齢者のいる家庭、子育てなど在宅で福祉的援助を必要とする方が地域で安心して生活できるようサービス提供し、在宅福祉サービスの向上に努めました。

協力会員 16名
高齢利用者 12名
利用延べ時間 566時間

(10) 障がい者総合支援法事業

① 障がい者居宅介護、重度訪問介護 (ホームヘルプ)

障がい者が、可能な限り在宅生活を送れるように、入浴・排せつ及び食事等の介護・調理・洗濯及び掃除等の家事、並びに生活等に関する相談及び助言、その他の生活全般にわたる援助を行い、在宅福祉の向上に努めました。

利用者 2名 利用延時間 76時間

(11) 受託事業

① 軽度生活援助事業

日常生活に軽易な支援が必要な、在宅のひとり暮らし高齢者に対し、住み慣れた自宅での生活がこれからも続けられるよう、ホームヘルパーが訪問し調理や掃除、ゴミ出し、服薬確認等の日常生活上の支援を行いました。

利用者 4名 利用延時間 98時間

② 地域生活支援事業 (スキルアップ手話講座)

日常会話の手話の読み取り・基本表現の習得を目指し、手話ボランティアの活動や、地域の聴覚障がい者と手話で会話ができるよう手話を学びました。



受講者数 24名
実施開催数 32回

(12) 介護保険事業

① 居宅介護支援事業（ケアマネジメント）

要支援・介護認定者に対して、住み慣れた自宅で安心して暮らせるよう介護サービスをはじめ保健・医療・福祉サービスの連絡調整を行い、本人・家族の希望を尊重した介護サービス計画（ケアプラン）を作成し、在宅生活を支援しました。

月平均利用者数 98名

月別利用状況

利用実績	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間	前年	増減
要介護 1～5	72	70	73	74	73	74	73	79	73	68	52	56	837	905	-68
要支援 1～2 事業対象者	33	33	33	36	32	30	28	28	26	27	19	19	344	343	+1
合計	105	103	106	110	105	104	101	107	99	95	71	75	1,181	1,248	-67

② 訪問介護事業（ホームヘルプ）

要介護状態にある高齢者等に対し、“その人らしくいつまでも在宅で暮らす”ため、ホームヘルパーが心身の状態に合わせた身体介護・生活援助を提供しました。また、要支援の高齢者等には、要介護状態になることを予防し自立した日常生活を送れるよう支援しました。

月平均利用者数 23名

月別利用状況

利用実績	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間	前年	増減
要介護 1～5	20	19	20	18	15	14	13	12	10	10	11	11	173	190	-17
要支援 1～2 事業対象者	12	11	9	8	9	8	8	9	8	8	8	10	108	146	-38
合計	32	30	29	26	24	22	21	21	18	18	19	21	281	336	-55

(13) 共同募金事業

① 赤い羽根共同募金事業の推進

茨城県共同募金会八千代町共同募金委員会として、10月1日から赤い羽根共同募金運動を実施しました。

② 歳末たすけあい配分事業の実施

民生委員の協力を得て、町内のひとり暮らし高齢者や身体障害者など、支援を必要とする方々へ、支援金として配分を行いました。

配分基準	今年度	前年度	増減
ひとり暮らし高齢者	197名	190名	+7
身体障害者手帳1級保持者	147名	158名	-11
療育手帳④・A保持者	33名	27名	+6
母子父子世帯及び父母のいない世帯	142世帯	171世帯	-29

(14) 広報活動

- ① 「社協だより」の発行（年1回）
- ② 「ボランティア広場」の発行（毎月）
- ③ ホームページの公開
- ④ Facebookによる情報発信

(15) その他

① 福祉機器貸出事業

日常生活を支援するため、病気やケガなどで一時的に福祉用具が必要な方に、車いすのまま乗り降りできる福祉車両や福祉用具を貸出しました。



福祉車両貸出 88件
車いす貸出 36件

② 遺族会への支援

町遺族会への活動支援をしました。

- ・ 護国神社参拝事業
- ・ 県遺族会第七ブロック研修会
- ・ 県戦没者追悼式／県戦没者遺族大会への参加ほか

会員数 460名
参加者 180名
参加者 62名



③ 施設配分助成金

町内の福祉施設が実施する高齢者や障がい者の生きがい支援を目的とする事業に対して助成を行いました。

5施設（なごみ苑、あじさい学園八千代、樂樂、なかよし家族、プライエいつき）
配分総額 150,000円

④ 福祉団体助成事業

福祉団体に対して活動費の助成をしました。（八千代町遺族連合会、八千代町身体障害者福祉協会、八千代町ボランティア連絡協議会、八千代町母子寡婦福祉会）

令和元年6月24日 提出
令和元年6月24日 認定
社会福祉法人
八千代町社会福祉協議会
会長 谷 中 聡